

# 予算審査特別委員会代表質問通告書

平成31年 3月11日

委員氏名 野沢 宏紀

予算審査特別委員長 佐山美恵子 様

		一問一答 ( 有 )	ページ 2~1
大 項 目	市 長 の 政 治 姿 勢 に つ い て		
小 項 目	質 問 の 要 旨		
予算編成について	<p>原田市長は、新年度予算を「新しい時代に夢と希望がふくらむ2019年度予算 あふれる市民の笑顔とまちの輝きを求めて」として編成されましたが、改めてその考え方をお伺い致します。</p>		
行財政運営及び行政改革の推進について	<p>今後の財政運営の状況による市民生活への影響や行政運営を取り巻く環境の厳しさについてはどの様に捉えているのかお伺い致します。</p> <p>また、第6次行政改革推進計画のもとで事務事業の見直しや経常収支の改善に向けて行政運営の新たな改革を強力に取り進める、とのことでありますがどの様に取り組むのかお伺い致します。</p>		
防災対策（地域防災力の向上）について	<p>行政としての対応力の向上及び地域等に対する支援策についてお伺い致します。</p> <p>また、恵庭市地域防災計画等についての検証及び対応についてはどの様にされているのかお伺い致します。</p>		



	氏名 野沢 宏紀	ページ 2～2
大項目	市長の政治姿勢について	
小項目	質問の要旨	
島松駅周辺再整備事業について	島松駅周辺再整備事業の取り組みについてお伺い致します。	
(仮)手話言語条例について	(仮) 恵庭市手話言語条例の制定に向けた取り組みについてお伺い致します。	
子育て世代包括支援センター事業について	子育て世代包括支援センター事業の具体的内容についてお伺い致します。	
地域経済の振興について	地域経済振興の具体的な取り組みについてお伺い致します。 また、人材育成、定着等の観点から、若者の奨学金について恵庭市内の企業等に就職し在住している場合に奨学金返済の一部を補助する制度を企業等と連携して創設できないか、お伺い致します。	
大項目	教育行政について	
小項目	質問の要旨	
いじめ・不登校対策について	子どもたちを取り巻く環境について、その現状と課題、今後の取り組みについてお伺い致します。	
文化・芸術の振興について	文化・芸術の振興について、その現状と課題、今後の取り組み方についてお伺い致します。	

# 予算審査特別委員会代表質問通告書

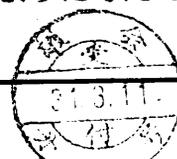
平成 31 年 3 月 11 日

委員氏名 大 野 憲 義

予算審査特別委員長 佐山 美恵子 様

ページ 2～1

	一 問 一 答 (有)	質問所要時間 (120 分)
大 項 目	一 般 行 政	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
31 年度一般会計の収支見通しについて	<p>提示された「平成 31 年度の予算案」では、「災害に強くしなやかで安心して住み続けられるまちづくり」をはじめとする、五項目の具体的目標の下に編成され、予算の骨格となる一般会計においては過去最高規模の 273 億 7 千 4 百万となり、また、歳出額も過去最高となったと認識しております。次年度予定されている主な事業として、花の拠点整備、小学校大規模改修、子どもの医療費助成の拡大等々、多岐にわたっております。</p> <p>そこで、新年度予算の編成に当たり留意したことや収支見通しについて伺います。</p>	
花の拠点整備事業について	<p>事業が本格的にスタートすることになりますが、周囲の景観や予定されている建物の配置から、恵庭市を形容する「花・水・緑 人がつながり夢ふくらむまちえにわ」の具現化にふさわしい事業として期待されておりますが、一方で、運営者には事業を安定的に持続できる、高い経営能力が求められるところであります。そこで、改めて計画全体の概要と事業の推進によって期待される、地元経済や観光振興への波及効果について伺います。</p>	
戸磯南工業団地の整備について	<p>民間事業としての新工業団地の造成に伴い、新たな企業進出が促され商工業への波及効果や雇用の創出など、本市の経済の活性化に資するものと期待されております。また、本市の持つ立地条件や利便性が高いことから、造成後の早期完売を願うところであります。</p> <p>そこで、現在、市が把握している計画の概要及び完成までのスケジュールについて伺います。</p>	
農業振興基金の在り方と今後について	<p>昨年 9 月の台風 21 号により、ビニールハウスの倒壊が顕著で、ハウス栽培農家の受けた被害は大きなものでありました。</p> <p>幸い、国や J A 道央、さらに、本市の農業振興基金を活用した素早い復旧支援により、今年の営農に向けた準備が整ったと認識しております。改めて、基金の果たす役割を実感したところであります。この度の経験から、基金を安定的に確保するための取り組みや、適正な基金額についてどのように考えているのか見解を伺います。</p>	



	氏名 大野 憲 義	ページ 2～2
大項目	一 般 行 政	
小項目	質 問 の 要 旨	
島松駅周辺再整備事業について	<p>3駅を中心とした「まちづくり」は、原田市政の根幹に当たるものがあります。残された島松駅舎を含む周辺施設のリニューアルには、市長も重大な決意をもって臨まれており、また、市民の期待感も大きなものがあります。そこで、新年度から、自由通路や駅前広場等の駅周辺施設は、どのように整備されていくのか、年度毎の事業スケジュール並びに主な事業内容について伺います。</p>	
子育て世代包括支援センターについて	<p>母子保健施策と子ども支援施策との一体的な提供により、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない一貫性のある支援を行うことを目的に、「えにあす」内に「子育て世代包括支援センター」を設置するということとあります。市内各所にある子育て支援センターや保育園等の保育施設との連携が不可欠と考えますが、子育て支援センターは、今後、どのような役割を担い取り組むのか伺います。</p>	
国民健康保険事業の広域化について	<p>国民皆保険の原則を将来にわたって維持していかなければなりません。道内各市町村の過疎化や高齢化などの進行により、国保制度を維持していく上で様々な課題が生じておりました。</p> <p>このため、昨年度より北海道が主体となって業務の広域化が図られ、事業を安定的に維持していく取り組みが行われております。改めて、広域化後の状況や課題について伺います。</p>	
大項目	教 育 行 政	
小項目	質 問 の 要 旨	
学校給食について	<p>子どもたちの健やかでたくましい身体を育てる上で、学校給食の果たす役割は大きいものがあり、衛生管理の行き届いた施設や安全な食材の確保などの専門性が求められております。本市の課題として、施設設備の経年劣化や食材の値上がりへの対応などがありましたが、給食費の値上げにより食材の安定的な確保には目途が立ったところであります。</p> <p>そこで、残る課題である、安全に給食事業を行う上での施設設備の現状や今後予想される課題について伺います。</p>	

# 予算審査特別委員会 代表質問通告書

平成31年 3月11日

委員氏名 柏野 大介

予算審査特別委員長 様

一問一答 (有)・無)	ページ 3~1
-------------	---------

大項目	1. 将来を見据えた財政運営について
小項目	質問の要旨
(1)人口の見通しについて	<p>長期的な財政運営を考える上では、人口や就業人口の見通しは重要です。中期財政見通しの終期である2022年度と、第5期総合計画最終年度である2025年度において、生産年齢人口と就業人口をどの程度と見込んでいるのか伺います。</p>
(2)経常収支の改善について	<p>経常収支の改善のためには、市税を中心とした歳入の増加を図る方策と、歳出削減の方策の両方が必要です。</p> <p>これまで、経常収支の改善策として、使用料・手数料の見直し、行政評価による事務事業の大胆な見直し、民間活力の活用（PPPの推進）、公共施設の有効活用（公共施設マネジメント）などを掲げてきましたが、これまでそれらの方策によって、どの程度の改善が図られ、次年度以降には、どの程度の効果が期待できるのか伺います。</p>
(3)民間活力の活用における財政指標の設定について	<p>地方債の新規発行額のルールは、当初の財政運営の基本指針よりも緩められていますが、さらに、ここに含まれない形での後年時負担を伴う支出は、財政を硬直化させる懸念があります。今後もPPPを推進するのであれば、債務負担行為についても、一定のルールの設定が必要だと思いますが、ご所見を伺います。</p>
(4)大型公共事業の採算性について	<p>以下の事業の予定事業費と、その事業による便益、採算性について伺います。</p> <p>①JR島松駅バリアフリー化事業                  ②花の拠点整備事業                  ③市営住宅柏陽・恵央団地建替事業                  ④通年型屋外体育施設事業</p>
(5)大型公共事業の優先順位について	<p>これらの事業の優先順位について伺います。</p>



	氏名 柏野 大介	ページ 3～2
大項目	2. 30年先を見据えたまちづくりについて	
小項目	質 問 の 要 旨	
(1)民間活力の活用について	民間活力の活用による事業として、緑と語らいの広場複合施設「えにあす」や花の拠点整備事業における宿泊施設整備事業などが進められてきました。一方で、こうした手法については、議会による議決を経ないことから、議決よりも先に事業が事実上開始される事案が生まれています。今後も民間活力を活用する上で、こうした問題についてのご所見を伺います。	
(2)公共施設マネジメントについて	公共施設総合管理計画を建前に、公共施設を市が保有しない形での官民連携事業（PPP）の検討が増えています。そもそも更新費用が大きいのは、施設よりもインフラであり、削減が難しいインフラこそ、数値目標を設定し、抑制を図る必要があると思いますが、ご所見を伺います（特に、すずらん保育園の建て替え事業に伴う公共不動産の活用について再質問で伺います）。	
(3)既存民間住宅を活用した借り上げ公営住宅について	恵庭市公営住宅等長寿命化計画では、既存民間住宅を活用した借上住宅の検討がされていましたが、現在柏陽団地、恵央団地の建替に合わせて検討されているのは、民間事業者が新規に建築する公営住宅となっています。既存住宅の活用の意味からも、新規建築による借上公営住宅は進めるべきではないと思いますが、ご所見を伺います。	
(4)立地適正化計画の策定について	既存のインフラを生かし、人口密度を維持していくためには、都市計画マスタープランの改定に合わせて、立地適正化計画を策定することが必要だと考えますが、ご所見を伺います。	
(5)恵み野地区の都市計画について	これまで恵み野地区では、都市計画による一定の規制のもと、地域住民が主体となって、花のまちづくりなどに取り組んできました。現在、恵み野西地区で進められている建設工事が、長年大切にしてきたまちの調和に変化を及ぼさないか心配です。現状の法的な規制と、今後のあり方について伺います。	
(6)ごみ処理経費総額の抑制について	ごみ処理手数料の改定が議決されました。ごみ処理に要する経費は年々増加しており、特に収集運搬経費などの抑制が求められています。これまでのごみ処理関連経費削減の取り組みと、新焼却施設の運転管理業務を発注する上で、競争性と経済性が発揮されるための工夫について伺います。	

	氏名 柏野 大介	ページ 3~3
大 項 目	2. 30年先を見据えたまちづくりについて	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
(7) 産業政策について	<p>新工業団地の整備に向けては、最大限、域内の経済循環を高めることが求められます。産業連関表の活用や、産学官の連携により、波及効果を高めることが必要だと思いますが、分析の内容、それに基づく企業誘致の戦略について伺います。</p>	
(8) 子育て環境の充実について	<p>若い世代の多い恵庭市にとって、子ども・子育て環境の充実は重要な課題です。保育園については、一時保育や日曜保育の拡大が進められ、学童クラブについても、開設時間の延長が行われました。しかし、現在でも18時30分までの開設では、市外へ通勤する世帯や、突発的な残業などの際に安心して子どもを預けられる環境にはなっていません。開設時間の拡大を図るべきだと思いますが、拡大に向けた課題について伺います。</p>	
(9) 産科医院の誘致について	<p>昨年11月に、産科医院が分娩を停止したことによって、市内での出産ができなくなっています。産科医、産科医院の誘致が必要だと思いますが、ご所見を伺います。</p>	
(10) 定住を増やす取り組みについて	<p>持続可能なまちづくりのためには、移住者増を図ることだけでなく、転出していく人を減らすことが必要です。転勤など防げない理由もあるとは思いますが、まずは現状の把握のため、転出者向けのアンケートを行なうべきだと思います。ご所見を伺います。</p>	

3